

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員配置数は適切であるか	○			有識で温厚な職員を配し、利用者の能力の啓発や情緒の涵養に努めている。
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全室バリアフリーで清潔な環境である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を配慮し、運営に反映させている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに公開予定。(令和2年3月末開示)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		関係者の感想や巷間の評判等を重んじて改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			日々の支援に影響ない範囲で、資質向上に必要な研修に参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の様々な事情を加味した上で作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の情報を職員全員で共有し、最良の方策を講じている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			基礎学力やコミュニケーション能力の向上に努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			日替わりの利用時間に応じつつ、個々の資質に配慮した行動プログラムを決めて、支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の発達状況を見極め、個別、集団活動を行っている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の職員会議で、業務内容を明示し、責任を分担して確実に遂行している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、一日の成果を報告しあい、翌日の業務につなげている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			異変については、より詳細に記録するようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個々の状況を踏まえて、計画の変更等に適切に反映させている。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		基本を参考にしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者が利用者の個々の状況を把握し、立案会議に活かしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校や保護者の年間計画、行事を確認し、かつ、日々の情報や連絡票の予定に基づき、その日の計画を立てて行い、更に、本人の事故、急病等に迅速に対応している。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療ケアの常時必要者はいないが、保護者や医療機関との連携を密にして、てんかん等の様々な急患の発生に備えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		以前の情報提供は求めていないが、学校や関係機関との関係は密に保っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			求めに応じて、支援の関連資料等を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			日本社会事業大学の研究チームの研究に関与している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		機会をとらえて、いつでも対応できるようにしている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			要請には欠かさず応じている。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の状況を伝えたり聞いたりして、保護者との意思の疎通をはかり、共通認識の下で支援活動に当たっている。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者との会話をどのような状態でも欠かさぬようにしている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			資料等、いつでも開示できる状態である。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			聞き役に徹しつつ、アドバイスできることは、積極的に伝えている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		全体の会を省く一方、個別対応に徹していて、個々のニーズに的確に沿えるようにしている。
	㉔	子どもや保育者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等の問題があれば、速やかに改善をはかって対応する体制である。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報は発行していないが、送迎時の保護者へ、施設の行事、予定等を文書等で確実に伝えている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			情報漏洩に対する職員への注意喚起と、パソコン等の事務機器の情報管理を厳重にしている
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の利用者の情報を職員間で共有し、適切な対応がなせるように努めている。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		新開地で相互の交流は乏しいが、隣組の付き合いから始めて、交流を深めている。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間での対応策を、保護者にも文書等を用いて周知させている。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			様々な状況に対応できるよう、毎年 2 回行われる訓練に、新たな工夫を常に加えている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議ではいつも、職員相互で確認し合っている。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			いかなる場合も身体拘束はしないが、自傷他害の恐れが生じた場合には、利用者本人を別室に隔離し、速やかに保護者や医療機関等に連絡相談して対処する。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			通所開始時に食物その他のアレルギーを確認していて、個別に対処している。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			不測の事態への対応を職員間で話し合い、冷静沈着な行動を心掛けている。

